

【花き】の【少雨・干ばつ】対策について

<9、10月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【露地ギク、シキミ、キイチゴ等】

(1) 予想される被害状況

ギクの露地雨よけ栽培での生育不良や開花前進化。

シキミ・キイチゴ等の露地花木等における1年目定植木の活着不良、生育不良、枯死、害虫の発生。

(2) 事前対策

- ① 事前にかん水用の井戸や畑かん施設を整備しておく。
- ② 干ばつが予想される場合は事前にできる範囲で用水を確保し、敷きわら等でマルチを行い、土壌水分の蒸発をできるだけ抑える。
- ③ 気温が高い時間帯は、寒冷紗等の遮光資材を被覆し、頭上散水や循環扇等を利用し、乾燥防止とハウス内気温の低下を図る。

(3) 事後対策

- ① シキミ・キイチゴ等秋苗については、降雨を待ち十分にほ場が湿るのを確認してから実施する。
- ② 土壌乾燥防止のためマルチや敷きワラを行い土壌からの水分の蒸発を抑制する。かん水ができる場合は気温の涼しい早朝か夕方に行い、地温の抑制をおこなう。
- ③ 高温乾燥により草勢が衰え、病虫害が発生しやすくなるので防除の徹底に努める。
- ④ シキミやキイチゴの1年生幼木については乾燥による枯死が懸念されるので、可能な限りかん水を実施するとともに、根元に敷きわらを行い土壌の乾燥を避ける。